

nms ホールディングス株式会社

2018年3月期 決算発表トピックス

2018.5.14

(JASDAQ 2162)

2018年3月期（2017年度）実績

利益は大幅増益、経常利益・当期純利益は倍増

全体として堅調に推移、EMS事業セグメントにおける中国子会社清算による売上減影響があったものの、利益面では、営業利益、経常利益、当期純利益とも大幅増益

売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
17年度実績	前期実績比	17年度実績	前期実績比	17年度実績	前期実績比	17年度実績	前期実績比
百万円 54,172	0.7%減	百万円 1,292	33%増	百万円 1,506	2.7倍	百万円 1,188	2.4倍

2019年3月期（2018年度）予想

全体として堅調に推移、売上伸長を計画 営業利益は、戦略投資実行による圧迫要因があるものの増益を見込む

売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
18年度予想	前期実績比	18年度予想	前期実績比	18年度予想	前期実績比	18年度予想	前期実績比
百万円 61,000	13%増	百万円 1,300	1%増	百万円 1,550	3%増	百万円 1,100	7%減

「2020年度中期経営計画」がスタート、2018年度からの3年間で成長基盤構築期間と捉え、戦略投資も実行しながら、次のステージをめざす

【2020年度目標】 売上高 1,000億円、EBITDA 45億円

1. 2018年3月期 通期業績ハイライト

- ヒューマンソリューション（HS）事業、エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業が国内外の需要に支えられ、計画に対し堅調に推移
- 利益面では、営業利益の増加に加え、営業外収益の増加や営業外費用の減少、投資有価証券売却益（161百万円）の計上等により、経常利益、当期純利益とも大幅増益

(単位：百万円)	2017年3月期 実績	2018年3月期 通期		
		実績	前年同期比	主なポイント
売上高	54,581	54,172	$\Delta 409$ ($\Delta 0.7\%$)	【売上高・営業利益】 HS事業、EMS事業が 計画に対し堅調に推移
営業利益	974	1,292	+317 (+32.6%)	【経常利益】 営業外収益 468百万円 (前年同期比 356百万円増) 営業外費用 254百万円 (前年同期比 270百万円減)
経常利益	561	1,506	+944 (2.7倍)	【特別利益】 222百万円 投資有価証券売却益 161百万円 固定資産売却益 60百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	493	1,188	+695 (2.4倍)	【特別損失】 64百万円 固定資産除却損 15百万円 子会社清算損 33百万円

2. セグメント別業績ハイライト

- HS事業：2Qにおいて先行投資コストの計上があったが、需要は国内・海外とも堅調に推移
- EMS事業：中国子会社解散による影響で減収となったものの、体質強化の成果等により大幅増益
- PS事業：今期は端境期のため減収減益だが、次期に向けた新規受注獲得や新製品の投入準備等推進

(単位：百万円)		2017年3月期 実績	2018年3月期 通期		
			実績	前年同期比 売上高：% 利益：金額	主なポイント
HS事業	売上高	13,906	17,069	+22.7%	国内・海外における成長戦略実行に伴う先行投資コストを2Qに計上、需要面では全体的に堅調が継続
	セグメント利益	682	610	△71 (△10.5%)	
EMS事業	売上高	28,300	26,165	△7.5%	中国子会社解散影響で減収となったものの、工作機械関連需要等、堅調に推移、体質強化成果もあり大幅増益
	セグメント利益	122	648	+526 (5.3倍)	
PS事業	売上高	12,374	10,936	△11.6%	新規分野への製品投入端境期のため減収減益だが、次期へ向け新規受注獲得や開発製品投入準備を推進
	セグメント利益	622	469	△153 (△24.6%)	
調整額	セグメント利益	△452	△436	+16	当社（持株会社）に係る全社費用 * 持株会社化に伴い、当費用は各セグメントに配分せず「調整額」に区分
合計	売上高	54,581	54,172	△0.7%	
	セグメント利益	974	1,292	+317 (+32.6%)	

* HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業

* 持株会社体制への移行に伴い、2018年3月期より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法について、当社（持株会社）に係る全社費用を各セグメントに配分しない方法に変更しております。前期実績についても、変更後の区分方法を反映しております。

売上高

17,069百万円

前年同期比 +22.7%

セグメント利益

610百万円

前年同期比 △71百万円
(10.5%減)

【事業母体】

日本マニファクチャリング
サービスグループ



国内

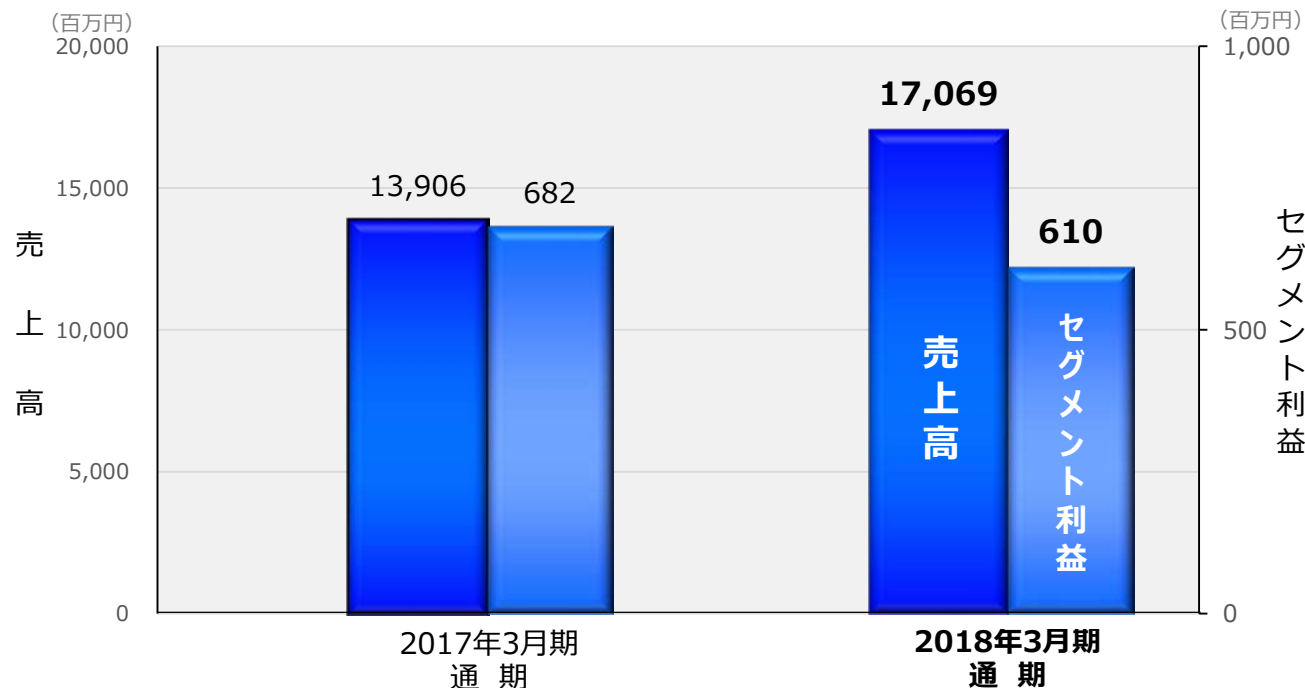
正社員化、福利厚生充実等により、採用力強化とともに定着率を向上
製造請負では、管理体制強化により生産効率改善や単価交渉により収益性向上



海外

当期より、タイおよびベトナムの子会社（計3社）を連結子会社化
中国での市場環境変化、人件費高騰等が続いたが、海外現地における製造請負
の取り組みを推進、特にベトナムにおいては、人材ソリューションとグループ内EMS事
業ノウハウ（製造受託）を組み合わせた、新たなサービスの提供が好調に推移

国内および海外における先行投資コストの計上が2Qにあり利益圧迫要因となったが、
グループ連携・リソースの活用を行いながら、収益性向上への取り組みを図る



売上高

26,165百万円

前年同期比 Δ 7.5%

セグメント利益

648百万円

前年同期比 +526百万円
(5.3倍)

【事業母体】

- ・志摩電子工業グループ
- ・TKRグループ



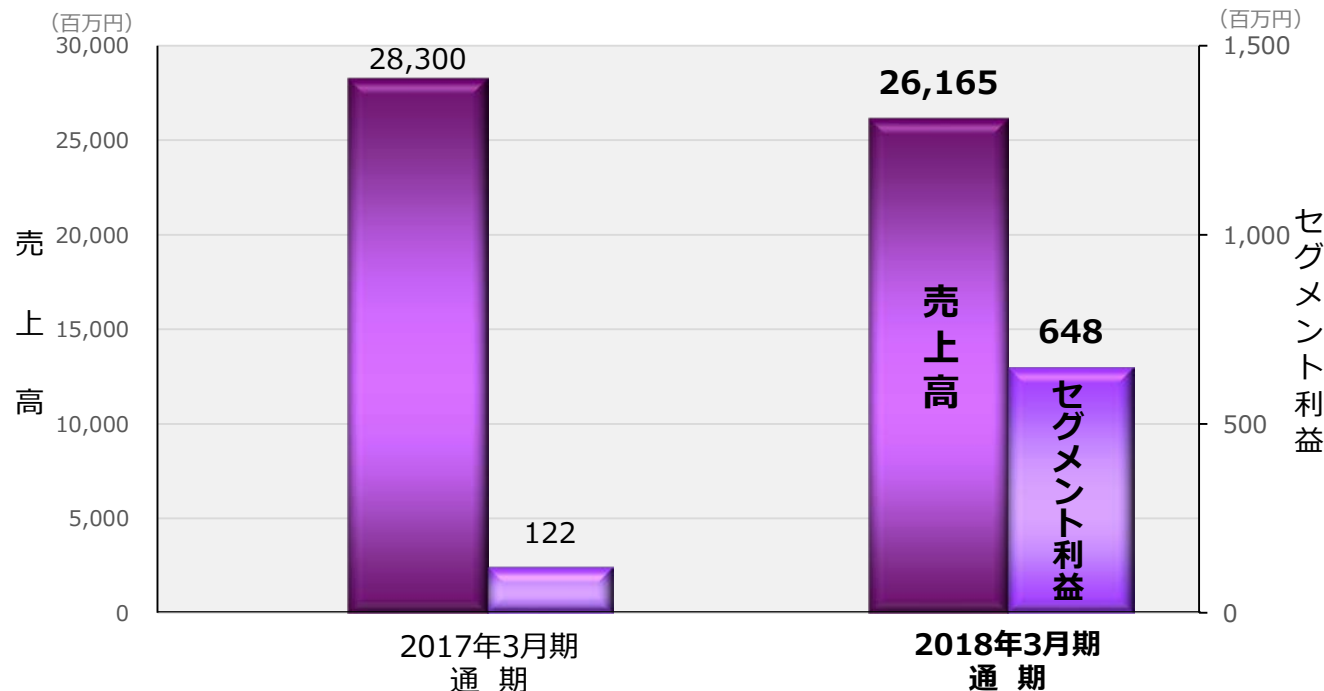
国内

前事業年度に実施したTKR各社での国内工場統合等の構造改革による利益改善効果と工作機械の受注回復により、計画に対しては堅調に推移



海外

前年同期対比では、中国の子会社「志摩電子（深圳）有限公司」解散による影響で売上減となったものの、利益においては構造改革効果で収益性が改善し大幅増益



全体

- ・既存製品の需要調整や、新規分野への製品投入までの端境期にあり、前年同期対比で減収減益
- ・次期につながる取り組みとして、これまで培ってきた電源技術を活かし「電池マネジメントシステム事業」を始動、リチウムイオン二次電池パックをはじめとするEV分野の開発・市場投入を推進
- ・その開発・製造拠点として2018年1月11日に「松阪工場」（三重県）を開設、2018年10月から量産開始予定
- ・「基盤強化」と「新製品開発・製造・拡販」の両輪で受注拡大をめざす

売上高

10,936百万円

前年同期比 Δ 11.6%

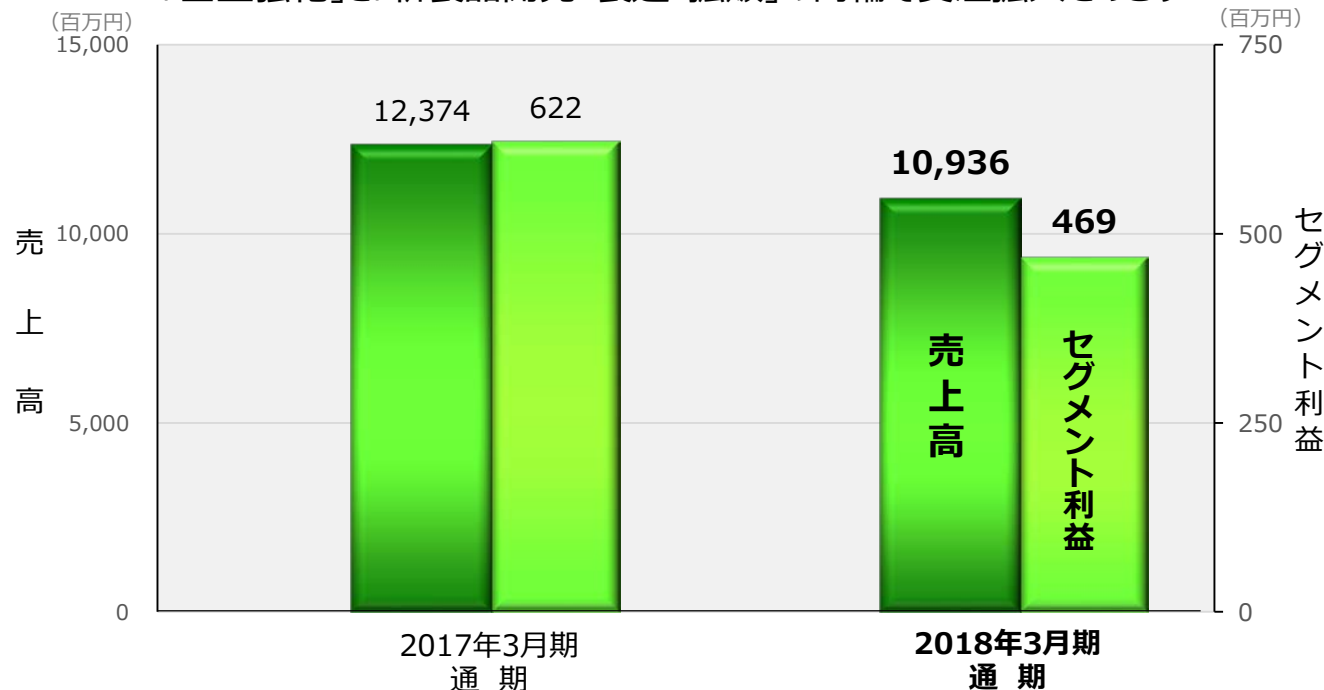
セグメント利益

469百万円

前年同期比 Δ 153百万円
(24.6%減)

【事業母体】

パワーサプライテクノロジー株式会社



3. 業績ハイライト (B/S)

- 当期より、グループにおける資金調達・管理を持株会社に一元化し、効率的な資金運用体制に移行
- 借入金についても、国内関係会社の借入については親会社が借入を行なう運用に移行しており、2018年3月期末では1,029百万円減少

(単位：百万円)	2017年3月期	2018年3月期	増減	主なポイント
流動資産	18,308	20,666	+2,357	現預金 +881 売掛 +968 在庫 +304
固定資産	6,251	5,830	△420	
有形固定資産	4,197	4,505	+307	
無形固定資産	526	503	△23	
投資その他の資産	1,527	821	△705	投資有価証券△198 関係会社貸付△374
資産合計	24,559	26,496	+1,937	
負債合計	19,599	20,345	+746	
流動負債	15,879	13,590	△2,289	【借入金残高】 △1,029 18/3末 10,635 17/3末 11,664
固定負債	3,719	6,755	+3,035	
純資産合計	4,960	6,150	+1,190	
負債・純資産合計	24,559	26,496	+1,937	

4. 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)	2017年3月期	2018年3月期	主なポイント
税金等調整前当期純利益	854	1,664	
減価償却費	648	716	
運転資金の増減	230	△132	売掛 △763 在庫 △323 買掛 954
その他	△137	18	
営業キャッシュ・フロー	1,595	2,266	
固定資産の取得・売却	253	△604	売却収入 284 取得支出 △888
その他	△671	516	投資有価証券売却収入 232
投資キャッシュ・フロー	△417	△87	
フリーキャッシュ・フロー	1,177	2,178	
借入金の増減	413	△1,115	
配当金支払 他	△882	△17	配当金 △59
財務キャッシュ・フロー	△469	△1,133	
現金及び現金同等物期末残高	3,253	4,449	

5. 2019年3月期 業績予想

- 2019年3月期は戦略投資実行による利益圧迫要因があるものの、需要は堅調に推移
売上伸長、営業利益・経常利益は増益を計画
- 「2020年度中期経営計画」がスタート、2018年度からの3年間で成長基盤構築期間と
捉え、戦略投資も実行しながら、次のステージをめざす

(単位：百万円)	2017年3月期 実績 (前々期)	2018年3月期 実績 (前期)	2019年3月期 予想 (今期)	前期比
売上高	54,581	54,172	61,000 <small>上期：28,500/下期：32,500</small>	+12.6%
営業利益	974	1,292	1,300 <small>上期：400/下期：900</small>	+0.6%
経常利益	561	1,506	1,550 <small>上期：500/下期：1,050</small>	+2.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	493	1,188	1,100 <small>上期：350/下期：750</small>	△7.4%

(参考) セグメント別 通期業績予想

- HS事業は国内・海外ともに堅調な推移を見込む
- EMS事業は先行投資負担があるため増益幅が限定されるものの、PS事業は端境期を脱し緩やかな上昇基調に転換、開発製品（電池パック）の量産も開始

(単位：百万円)		2017年3月期 実績 (前々期)	2018年3月期 実績 (前期)	2019年3月期 予想 (今期)	前期比
HS事業	売上高	13,906	17,069	21,500	+26.0%
	セグメント利益	682	610	690	+13.1%
EMS事業	売上高	28,300	26,165	27,400	+4.7%
	セグメント利益	122	648	650	+0.3%
PS事業	売上高	12,374	10,936	12,100	+10.6%
	セグメント利益	622	469	500	+6.6%
調整額	セグメント利益	△452	△436	△540	-
合計	売上高	54,581	54,172	61,000	+12.6%
	セグメント利益	974	1,292	1,300	+0.6%

nms ホールディングス株式会社

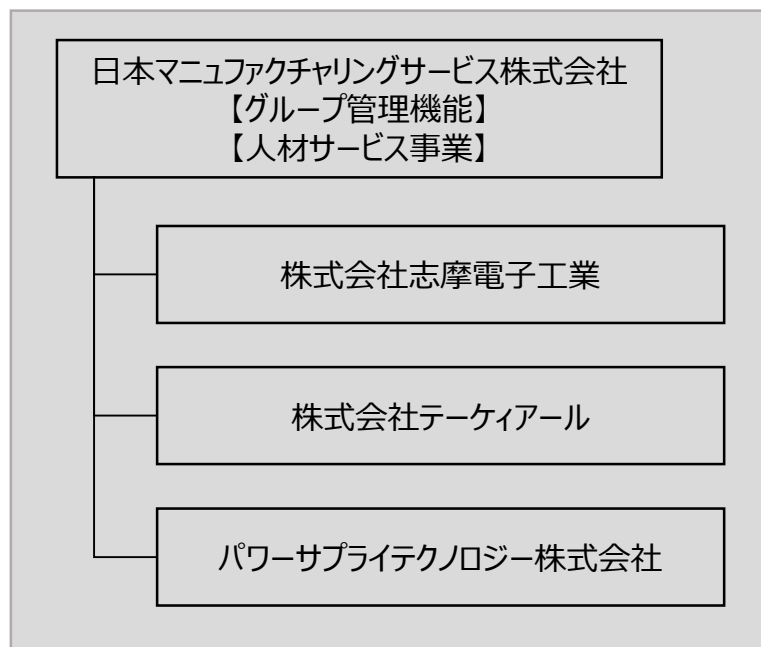
<http://www.n-ms.co.jp/>

商号	nms ホールディングス株式会社
本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2018年4月1日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（JASDAQ市場） 証券コード 2162
事業内容	ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
主な連結子会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社 株式会社志摩電子工業 株式会社テーキアール パワーサプライテクノロジー株式会社

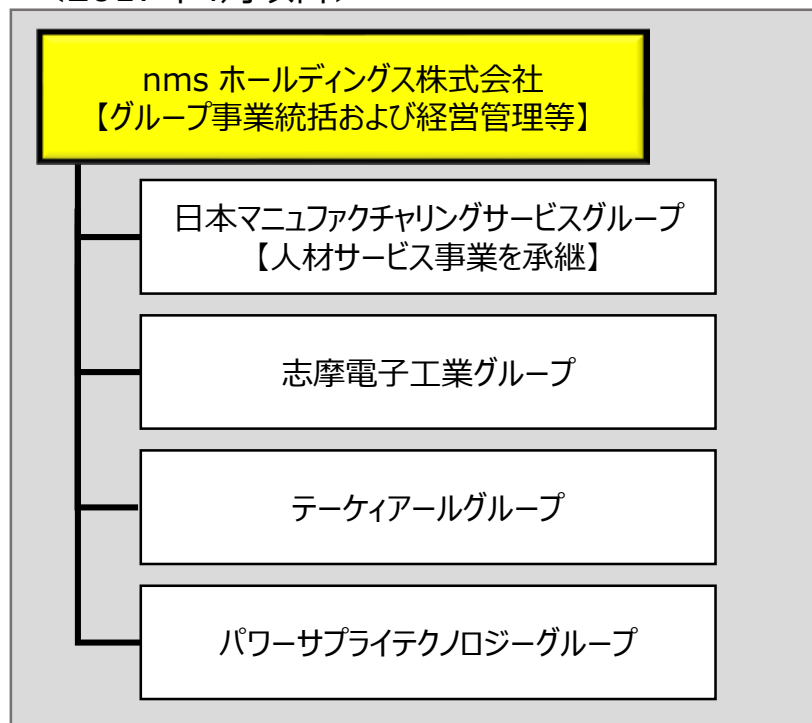
目的

グループ経営機能の強化、市場および事業領域拡大への機動的対応等

- 持株会社体制移行後のグループ経営体制



<2017年4月以降>



「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。

これが私たちnmsグループのキーワードです。

3つの事業を組み合わせ、人材ソリューションから、効率生産を実現するEMS（製造受託）、さまざまな機器類の「安全・安心」を確保する電源製品の開発・製造・販売までお客様の多種多様なニーズにお応えします。

HS

ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を
知り尽くした人材が
日本やアジア各地域で活躍

事業主体

日本マニュファクチャリングサービス

EMS

エレクトロニクス マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する
トータルソリューションを実現

事業主体

志摩電子工業
テーケイアール

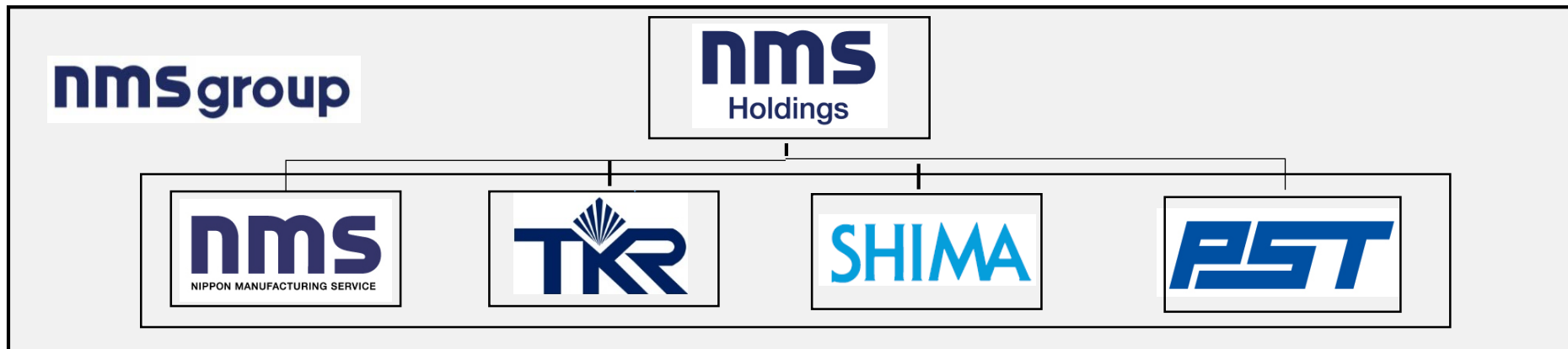
PS

パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で
ワンランク上のソリューションを提供

事業主体

パワーサプライテクノロジー



主な連結子会社 (() 内は各社決算期)	進出国・地域	主な事業内容
ヒューマンソリューション事業 (HS事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・日本マニファクチャリングサービス株式会社 (3月) ・北京日華材創国際技術服務有限公司 (12月) ・北京中基衆合国際技術服務有限公司 (12月) 	日本 中国 ベトナム タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・製造派遣／製造請負 ・エンジニア派遣／エンジニアリング受託 ・物流 (3PL／流通加工) ・テクニカルサービス受託 (各種リペア・リワーク・解析等・カスタマーサービス全般)
エレクトロニクス・マニファクチャリング・サービス (EMS事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社志摩電子工業 (12月) ・株式会社テーキアール (12月) 	日本 香港 (中国) マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ・電子機器製造受託サービス (基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立 等) ・省力化機器製造・販売
パワーサプライ事業 (PS事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・パワーサプライテクノロジー株式会社 (12月) ・株式会社テーキアール (12月) 	日本 香港 (中国)	<ul style="list-style-type: none"> ・カスタム電源 (低圧電源、高圧電源) の開発・設計・製造・販売 ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売 ・各種トランス (スイッチングトランス、高圧トランス) 開発・設計・製造・販売 ・電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ
nms ホールディングス株式会社
広報・IR部 Tel:03-5333-1737
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

